

# 各学科の履修方法

学科ごとに、「教育課程表（カリキュラム）」が定められている。また、同じ学科であっても入学年度によって教育課程表が違う場合もある。自分の所属する学科および入学年度の履修方法をよく読み、自分が所属する学科を卒業するために必要な科目は何か、どのように履修すれば良いか理解し、科目登録を行うこと。疑問・質問がある時は、各学科の教務部委員もしくは教務担当窓口に相談すること。

## 英文学科

### 1 専門教育科目の構成

#### 1. 英文学科の教育目的

英文学科では、実践的な英語コミュニケーション能力を伸ばすこととともに、英語学、英米文化・文学の専門領域研究を通して、自らの視野、価値観を広げ、新しい可能性を発見することを目的としている。英語圏における語学研修の実施や支援を行い、英語運用能力の向上とともに、現地での学びから、国際理解をもってコミュニケーションのできる人材を育成する。

英語コミュニケーションを軸とした教育に加え、時代のニーズに即した勉強会や講演会を実施し、英語教師はもちろん、一般企業等において活躍できる人材を育てる。また、国内外の大学院進学も可能であり、そのための専門領域研究の指導や支援を行う。

#### 2. 英文学科の特徴

1、2 年次は、基礎コミュニケーション能力の育成と、専門領域の導入を主たる目的としている。3、4 年次にも上級レベルの英語科目を設定し、4 年間を通して、英語力を高めることができる。実力をはかる目安として毎年 2 回「カレッジ TOEIC」を実施し、所定のスコアを満たした者には単位を認定する。

専門領域においては、3 年次から「英語学コース」と「英米文化・文学コース」を選択し学修する。英語学コースでは英語コミュニケーションを成り立たせている音声・構造・意味の諸側面を考察することで英語および言語一般の特性を解明している。英米文化・文学コースでは、文学作品やそれが培われた地域の文化、歴史、習慣等を学びながら、人間の本質の解明をめざし、複数の研究領域にまたがる考察により、複眼的な視野を養うことを目標としている。また、長・短期の海外研修制度があり、いずれも研修先の学修内容を英文学科専門科目の単位として認定できるようになっている（そのための研修貸与金制度等もある。詳しくは P159 参照）。

#### 3. 教育課程の特色

英文学科の専門教育科目は次の 4 つの科目群から成り、学年進級とともに、内容が初級から上級、基礎から専門となるように配置されている。

- ① Comprehensive Communication (C2) 科目
- ② 英語学コース専門科目

③ 英米文化・文学コース専門科目

④ 共通専門科目

①は、4 年間全員が履修できる英語コミュニケーション科目である。この科目で英語力を養いながら、②、③、④の専門科目において専門性を高められるように構成されている。1、2 年次開講のコース専門科目は、コース選択前の基礎科目で、基礎力を身につけながら、3 年次のコース選択の参考とするよう配置されている。そのため、1、2 年次は両コースの科目をバランスよく履修することが望ましい。3、4 年次は所属コースの科目履修が中心となるが、セミナー科目以外であれば、他コースの科目を選択することができる。また、所属コースに関係なく④の「共通専門科目」が履修できる。

### 2 履修方法

#### ◆卒業要件単位

卒業するためには、以下の要件を満たし、合計 124 単位以上履修しなければならない。

#### 1) 一般教育科目

一般教育科目は 38 単位以上履修すること。その科目内訳は以下のとおり。

##### ●必修科目（計 38 単位）

- 1 年次：「キリスト教学Ⅰ」、「基礎演習」、「日本語演習」、「人文社会科学入門」、「自然科学入門」、「運動スポーツ論」、「教養講義 A～O（I を除く）」のなかから 2 科目  
「ドイツ語Ⅰ A・Ⅰ B・Ⅱ A・Ⅱ B」または「フランス語Ⅰ A・Ⅰ B・Ⅱ A・Ⅱ B」
- 2 年次：「自然科学特論 A～G」のなかから 1 科目、「総合コース A～J」のなかから 2 科目
- 3 年次：「科学技術論」、「特殊研究 A・B」（4 年次でも可）
- 4 年次：「キリスト教学Ⅱ」

##### ●選択科目

- 1 年次：「情報処理」
- 2 年次：「ドイツ語Ⅲ」、「フランス語Ⅲ」
- 3 年次：「日本国憲法」
- 1～4 年次：「シーズンスポーツ」
- 2～4 年次：「スポーツ」

#### 2) 専門教育科目

専門教育科目は、以下の要件を満たし、合計 78 単位以上履修すること。

- (a) 所属するコースから 36 単位以上履修すること（※卒業研究および共通科目の単位も含まれる。）
- (b) 所属するコースの〈基礎セミナーⅠとⅡ〉、〈開設セミナーⅠとⅡ〉、〈卒業研究セミナーⅠとⅡと卒業論文〉の中から 3 グループ以上履修すること。
- (c) 所属するコースの基礎セミナーⅠとⅡは必ず履修し、学年末に英文 10 枚以上のタームペーパーを提出すること。

(d) 〈卒業研究セミナーⅠとⅡと卒業論文〉を履修する場合は、学年末1月の指定された日時までに、英文の場合は20枚以上、和文の場合は40枚以上の論文を提出すること。

※所属するコースの〈基礎セミナーⅠとⅡ〉、〈開設セミナーⅠとⅡ〉、〈卒業研究セミナーⅠとⅡと卒業論文〉の3グループ内の科目は、原則同じ年次に同じ担当教員の科目をセットで履修すること。

上記〈 〉内の組み合わせで3グループ以上を3・4年次の2年間で履修すること。但し、〈卒業研究セミナーⅠとⅡと卒業論文〉を履修しない場合は、所属するコースの4年次開設科目から8単位以上履修すること。〈開設セミナーⅠとⅡ〉のグループは複数履修可。

### 3) その他の履修科目

その他に『専門教育科目の選択科目』から8単位以上履修すること。

但し、『他学科の開放科目』、『一般教育科目の選択科目』、『図書館学に関する科目の中の㊦印の科目』、および『本学と協定を締結している他大学の単位互換科目』をもって換えることができる。㊦印の科目の履修については、P17を参照のこと。

#### ●再度履修できる科目について

教育課程表の再度履修欄に「可」とある科目は、何度でも履修できるが、卒業要件単位に加算できるのは1回分のみである。ただし、「Discussion Seminar1と2」、「英語学セミナーⅠとⅡ」、「英米文化・文学研究セミナーⅠとⅡ」（年度が異なれば同じ担当教員のセミナーも可）は、取得した単位数すべて上限なく卒業要件単位に加算できる。

#### ●段階制のある科目について

科目名のローマ数字（Ⅰ，Ⅱ）は段階制を表す。下位レベル（Ⅰ）を履修済みでなければ、上位レベル（Ⅱ）の履修は認められない。ただし「教科教育法Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ」は内容的に段階制をとらないため、このような制約を受けない。アラビア数字（1，2）は段階制をとらない。

#### ●「Overseas study」について

2年次と3年次開設の「Overseas study」を履修する際には、「Overseas study Preparation」を必ず同時に履修すること。

#### ●「Teaching Internship」制度について

1年次と2年次開設の「Reading/Intermediate Reading」、「Writing/Intermediate Writing」、「Listening/Intermediate Listening」、「Speaking/Intermediate Speaking」は、履修する代わりに、担当教員の授業運営の補助をして単位を取得することができる（希望者は履修登録前に必ず教務部委員に申し出ること。TOEIC600点以上の取得者であることが望ましい）。ただし、この方法により取得できる単位は8単位までとする。

#### ●自己学習による単位認定について

A. 「TOEIC600・730・860」はスコアにより各4単位を認定する（4月または9月に履修登録する必要はない）。TOEICのスコアが、600、730、860を満たした場合、その年度の12月末までに、「わたしのTOEIC学習法」（仮題）とするレポート（800字～1,200字）を提出し、単位認定を申請すること。860点以上のスコアで申請する場合は、「TOEIC730」と「TOEIC600」も同時に認定でき、合計12単位となる（730点以上860点未満の場合は8単位）。学外で受験したスコアも認定対象とする。その場合はスコアの写しを提出すること。

本年度の学内で受験できる「カレッジ TOEIC」は、年2回実施予定である。具体的な日時については学科の掲示板で確認すること。年間1回分の受験料は実習費から自動的に納付され（2回目からは自己負担）、自分の英語力の目安となるので、年に最低1回は受験すること。

B. Overseas Language Skills Exchange は、春期休業もしくは夏期休業中に英語圏の宮城学院女子大学協定校で50時間以上語学研修した場合、以下の科目として認定する制度である（研修50時間につき2単位。上限は16単位まで）。出発前に所定の計画書を教務部委員に提出すること。協定校以外の学校を希望する場合は、学校を決定する前に必ず教務部委員に相談すること。

認定科目：『Comprehensive Communication：C2』のうち、「TOEIC600」、「TOEIC730」、「TOEIC860」、「Overseas Study Preparation」、を除きたいすれかの科目。

#### ●キャップ制について

キャップ制とは、授業の予習や復習など教室外において学習する時間を考慮し、単位の過剰登録を防ぐため、学期間・年間に科目登録できる単位の上限を設ける制度である。

1年度あたり修得できる単位数は、前期、後期それぞれ28単位、通年で48単位を超えてはならない。

なお、全学科において科目登録の上限に含めない科目があるので、詳しくは、「**5** キャップ制」（P18）を参照すること。

#### ●その他

- A. 4年間で卒業要件単位数より少なくとも8単位以上回るように履修することが望ましい。
- B. 英文学科にかかわる連絡は、学科の掲示板（人文館4階ロビー）によって行う。重要な連絡等もあるので、毎日最低1回は掲示板を見ること。
- C. 『Comprehensive Communication 科目』（㊦印の選択科目を除く）は小クラス(a)(b)(c)等に分かれて授業を実施する。クラス名簿は4月に英文学科掲示板に掲示する。
- D. 「Discussion Seminar」が、同年度に複数クラス開設される場合は、複数履修可能であり、すべて卒業要件単位に加算することができる。

3 取得できる免許と資格

英文学科の学生は、次の教育職員免許状と資格を取得することができる。取得方法については、「資格・免許」(P116～)を参照すること。

- 免 許：中学校教諭一種免許状（英語）  
          高等学校教諭一種免許状（英語）
- 資 格：司書教諭、司書

4 教育課程表の記号について

・「卒業要件」…卒業に関わる授業科目	
必 修	◎
選 択（卒業要件単位）	△
自 由（卒業要件単位には含まれない）	△
・「免許・資格」…免許・資格取得に関わる授業科目	
教職（中一種免・高一種免を両方取得希望者）必修	⊗
教職（中一種免）必修（専門教育科目・教職に関する科目）	⊕
教職（高一種免）必修（専門教育科目・教職に関する科目）	⊙
教職（中一種免）選択（専門教育科目・教職に関する科目）	⊞
教職（高一種免）選択（専門教育科目・教職に関する科目）	⊠
教職（共通）必修（一般教育科目）	⦿
教職（共通）選択（一般教育科目）	⦿
司 書 必 修	司
司 書 選 択	司
司書教諭必修	教

5 教育課程表

英文学科教育課程表

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度 履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
一般科目	◎		キ リ ス ト 教 学 I	2	2					
	◎		キ リ ス ト 教 学 II	2				2		
	◎		基 礎 演 習	2	2					
	◎		日 本 語 演 習	2	2					
	△		教 養 講 義 A	2	2				可	2科目4単位以上選択
	△		教 養 講 義 B	2	2				可	
	△		教 養 講 義 C	2	2				可	
	△		教 養 講 義 D	2	2				可	
	△		教 養 講 義 E	2	2				可	
	△		教 養 講 義 F	2	2				可	
	△		教 養 講 義 G	2	2				可	
	△		教 養 講 義 H	2	2				可	
	△		教 養 講 義 J	2	2				可	
	△		教 養 講 義 K	2	2				可	
	△		教 養 講 義 L	2	2				可	
	△		教 養 講 義 M	2	2				可	
	△		教 養 講 義 N	2	2				可	
	△		教 養 講 義 O	2	2				可	
	◎		人 文 社 会 科 学 入 門	2	2					
	◎		特 殊 研 究 A	2			2		可	
	◎		特 殊 研 究 B	2			2		可	
	△	教	日 本 国 憲 法	2			2			
教 育 科 目	◎		自 然 科 学 入 門	2	2					
	△		自 然 科 学 特 論 A	2		2			可	1科目2単位以上選択
	△		自 然 科 学 特 論 B	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 C	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 D	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 E	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 F	2		2			可	
	△		自 然 科 学 特 論 G	2		2			可	
	◎		科 学 技 術 論	2			2			
	△	教	情 報 処 理	2	2					
科 目	△		総 合 コ ー ス A	4		4			可	2科目8単位以上選択
	△		総 合 コ ー ス B	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス C	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス D	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス E	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス F	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス G	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス H	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス I	4		4			可	
	△		総 合 コ ー ス J	4		4			可	
外 国 語 科 目	△	教	ド イ ツ 語 I A	1	1					同一外国語を 4科目4単位以上選択
	△		ド イ ツ 語 I B	1	1					
	△		ド イ ツ 語 II A	1	1					
	△	教	ド イ ツ 語 II B	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 I A	1	1					
	△	教	フ ラ ン ス 語 I B	1	1					
	△		フ ラ ン ス 語 II A	1	1					
	△	教	フ ラ ン ス 語 II B	1	1					
体 育 科 目	△		ド イ ツ 語 III	1		1			可	
	△		フ ラ ン ス 語 III	1		1			可	
	◎	教	運 動 ス ポ ー ツ 論	2	2					
	△	教	シ ー ズ ン ス ポ ー ツ	1		1			可	
	△	教	ス ポ ー ツ	1		1			可	

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度 履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 教 育	C2	Comprehensive Communication	◎ Reading 1	1	1					Teaching Internship制度により単位を取得することが可能（詳しくはP39参照）
			◎ Reading 2	1	1					
			◎ Intermediate Reading 1	1		1				
			◎ Intermediate Reading 2	1		1				
			◎ Writing 1	1	1					
			◎ Writing 2	1	1					
			◎ Intermediate Writing 1	1		1				
			◎ Intermediate Writing 2	1		1				
			◎ 中高 Listening 1	1	1					
			◎ 中高 Listening 2	1	1					
			◎ 中高 Intermediate Listening 1	1		1				
			◎ 中高 Intermediate Listening 2	1		1				
			◎ 中高 Speaking 1	1	1					
			◎ 中高 Speaking 2	1	1					
			◎ 中高 Intermediate Speaking 1	1		1				
			◎ 中高 Intermediate Speaking 2	1		1				
			◎ 中高 Grammar 1	1	1					
			◎ 中高 Grammar 2	1	1					
			◎ 中高 Advanced Grammar 1	2			2			
			◎ 中高 Advanced Grammar 2	2			2			
			△ 中高 Translation 1	2			2			
			△ 中高 Translation 2	2			2			
			△ Business English 1	2	2					
			△ Business English 2	2	2					
			△ TOEIC 600	4		4				スコアで認定
			△ TOEIC 730	4		4				スコアで認定
			△ TOEIC 860	4		4				スコアで認定
			△ 中高 Discussion Seminar 1	2			2		可	複数科目履修可
			△ 中高 Discussion Seminar 2	2			2		可	複数科目履修可
			△ 中高 Current English 1	2			2		可	
			△ 中高 Current English 2	2			2		可	
			△ Overseas Study Preparation	2		2				
			△ 中高 Overseas Study	4		4			可	
英 語 学 コ ー ス	英語学	英語学	△ 中高 こ と ば と 人 間 1	2	2					
			△ 中高 こ と ば と 人 間 2	2	2					
			△ 中高 英 語 音 声 学 I	2		2				
			△ 中高 英 語 音 声 学 II	2		2				
			△ 中高 生 成 文 法 I	2		2				
			△ 中高 生 成 文 法 II	2		2				
			△ 中高 英 語 の 歴 史	2			2		可	
			△ 中高 日 英 語 比 較 文 法 論 I	2			2		可	
			△ 中高 日 英 語 比 較 文 法 論 II	2			2		可	
			△ 中高 心 理 言 語 学 I	2			2		可	
			△ 中高 心 理 言 語 学 II	2			2		可	
			△ 中高 語 法 研 究	2			2		可	
			△ 中高 コ ー パ ス 言 語 学	2			2		可	
			△ 中高 英 語 学 講 読 1	2		2				
			△ 中高 英 語 学 講 読 2	2		2				
			△ 中高 英 語 学 基 礎 セ ミ ナ ー I	2			2			英語学コースのみ履修可
			△ 中高 英 語 学 基 礎 セ ミ ナ ー II	2			2			英語学コースのみ履修可
			△ 中高 英 語 学 セ ミ ナ ー I	2			2		可	英語学コースのみ履修可 複数科目履修可
			△ 中高 英 語 学 セ ミ ナ ー II	2			2		可	英語学コースのみ履修可 複数科目履修可

部門	必修・選択・自由		授 業 科 目	単位	開設年次および単位				再度履修	備 考
	卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次		
専 門 科 目	△	中高	イギリスの生活と文化 1	2	2					
	△	中高	イギリスの生活と文化 2	2	2					
	△	中高	アメリカの生活と文化 1	2	2					
	△	中高	アメリカの生活と文化 2	2	2					
	△	中高	英米文化論 講読 1	2		2				
	△	中高	英米文化論 講読 2	2		2				
	△	中高	イギリス文化史 I	2		2				
	△	中高	イギリス文化史 II	2		2				
	△	中高	文化交流論 I	2			2		可	
	△	中高	文化交流論 II	2			2		可	
	△	中高	アメリカ文化史 I	2		2				
	△	中高	アメリカ文化史 II	2		2				
	△	中高	文化研究 (オーストラリア・カナダ) I	2			2		可	
	△	中高	文化研究 (オーストラリア・カナダ) II	2			2		可	
	△	中高	英米マスメディア論 I	2			2		可	
	△	中高	英米マスメディア論 II	2			2		可	
	△	中高	イギリス文学史 I	2			2			
	△	中高	イギリス文学史 II	2			2			
	△	中高	アメリカ文学史 I	2			2			
	△	中高	アメリカ文学史 II	2			2			
	△	中高	文学作品講読 1	2		2				
	△	中高	文学作品講読 2	2		2				
	△	中高	英米小説の世界 1	2		2			可	
	△	中高	英米小説の世界 2	2		2			可	
	△	中高	英米演劇の世界 1	2		2			可	
	△	中高	英米演劇の世界 2	2		2			可	
	△	中高	英米文学研究 (17-18 世紀) I	2			2		可	
	△	中高	英米文学研究 (17-18 世紀) II	2			2		可	
	△	中高	英米文学研究 (19-20 世紀) I	2			2		可	
	△	中高	英米文学研究 (19-20 世紀) II	2			2		可	
	△	中高	英米文化・文学基礎セミナー I	2			2			英米文化・文学コースのみ履修可
	△	中高	英米文化・文学基礎セミナー II	2			2			英米文化・文学コースのみ履修可
	△	中高	英米文化・文学研究セミナー I	2			2		可	英米文化・文学コースのみ履修可 複数科目履修可
	△	中高	英米文化・文学研究セミナー II	2			2		可	英米文化・文学コースのみ履修可 複数科目履修可
共通科目	△	中高	児童英語教育	2			2		可	
	△	中高	英語教材研究	2			2			
	△	中高	社会言語学 I	2			2		可	
	△	中高	社会言語学 II	2			2		可	
	△	中高	外国語としての日本語 1	2			2		可	
	△	中高	外国語としての日本語 2	2			2		可	
	△		卒業研究セミナー I	2				2		
	△		卒業研究セミナー II	2				2		
	△		卒業論文	4				4		
	△	中高	教育原理	2	2					
教職に関する科目	△	中高	教育制度論	2	2					
	△	中高	教職概論	2	2					
	△	中高	教育心理学	2		2				
	△	中高	教育方法論	2		2				
	△	中高	道德教育の理論と方法	2		2				
	△	中高	特別活動の理論と方法	2		2				
	△	中高	生徒指導 A (進路指導を含む)	2		2				
	△	中高	教育相談	2			2			
	△	中高	英語科教育法 I	2		2				
	△	中高	英語科教育法 II	2		2				
	△	中高	英語科教育法 III	2			2			
	△	中高	英語科教育法 IV	2			2			
	△	中高	教職実践演習 (中・高)	2				2		
	△	中高	教育実習 A (事前事後指導を含む)	5				5		
	△	高	教育実習 B (事前事後指導を含む)	3				3		



部門		必修・選択・自由		授業科目	単位	開設年次および単位				再度履修	備考	
		卒業要件	免許・資格			1年次	2年次	3年次	4年次			
図書館学に関する科目	甲群	△	同	生涯学習概論	2			2				
		△	同	図書館情報学概論	2		2				※	
		△	同	図書館情報技術論	2		2					
		△	同	図書館制度・経営論	2			2				
		△	同	図書館サービス概論	2		2				※	
		△	同	情報サービス論	2			2			※	
		△	同	児童サービス論	2		2				※	
		△	同	情報サービス演習Ⅰ	1				1		※	
		△	同	情報サービス演習Ⅱ	1				1		※	
		△	同	図書館資料論	2				2			
		△	同	資料組織法概説	2			2				
	△	同	資料組織法演習A	1			1					
	△	同	資料組織法演習B	1			1					
		乙群	△	同	データベース特論	1			1			
△	同		専門資料論	2			2					
△	同		図書・図書館史	2			2					
司書教諭に関する科目	△	教	学校経営と学校図書館	2			2					
	△	教	学校図書館メディアの構成	2			2					
	△	教	学習指導と学校図書館	2			2					
	△	教	読書と豊かな人間性	2			2					
	△	教	情報メディアの活用	2			2					
計				一般教育科目	118							
				専門教育科目	174							
				教職に関する科目	36							
				図書館学に関する科目	27							
				司書教諭に関する科目	10							
				合計	365							